

体験学習の森がオープン

去る8月3日、林務部が平成9年から15億9千万円余をかけて3年がかりで整備をしてきました「体験学習の森」がオープンしました。当日は320名の方をお迎えし、木立ちの中をさわやかな風が吹き抜ける森のなかで、開園式が行われました。

多様な環境に育つ豊かな森林

既存の森林に加えて、新たに19haが整備されたことにより、林業総合センターの森林は44haになりました。森林には、一抱えほどの大きなアカマツを主体にコナラ、カラマツ、スギなどが混生しています。一番大きなカラマツは直径90cmもあり、他の2本と並んで見事なものです。また、昔、近くの人達が炭を焼いた跡や、薪を伐った跡に株状に育った雑木林など、人と森林との結び付きを垣間見ることができます。また、森林の低地には豊かな湧水があり、池や湿地が広がっています。ガマの穂がたくさん育ち、多くのトンボや水生昆虫など、森林とは違った植物や昆虫を見ることができます。「体験学習の森」は、森林だけでなくいくつもの違った環境が見られるため、多様な生物が住むことができるのです。



林内で一番大きいカラマツ

森林浴を楽しむ「ふれあいゾーン」

体験学習の森は3つのゾーンに分けられます。一般の皆さんが自然にふれあい、森林浴を楽しむことができる「ふれあいゾーン」は、遊歩道が整備

され、樹木の名称や植生、生息する動植物などを紹介した案内板があちこちに立ち、森林の勉強をしながら森林を楽しむことができます。ややきつい坂もありますが、木片を敷き詰めた遊歩道は、自然観察をしながらゆっくり2時間のコースです。



植栽体験に汗を流す参加者

各種林業講座の実習地「体験ゾーン」

一般の方や林業を学ぶボランティアの皆さんが、下刈りや間伐の作業体験を行う「体験ゾーン」では、今年あらたに2講座を行っています。「森の家族養成所」は小学生の家族を対象として一年間12回の講座です。午前中は林業体験、午後はレクリエーションの内容で、親子で森林を楽しみながら学んでいます。半年が終わりましたが、皆さん元気に参加してくれます。

森の家族養成所プログラム

4月	「体験学習の森」観察、きのこ植菌
5月	ヒノキ植栽、山菜取り
6月	ほだ木本伏せ、ロープワーク
7月	下刈り、昆虫採取
8月	除伐、ネイチャーゲーム
9月	間伐、隠れ家づくり
10月	きのこ採り、ドングリ種蒔き
11月	薪づくり、落ち葉遊び焼き芋
12月	炭焼き、薫製づくり
1月	巣箱作り、巣箱掛け
2月	枝打ち、森の地図づくり
3月	森の家族認定書授与式

林業作業体験講座は、より深く林業技術を身に付けたい一般の方を対象にしている12回のコースです。植栽や間伐の一般的な作業に加えて、測量、側樹やチェーンソーの手入れなどのメニューもあってハイアマチュアをめざす方々が熱心に受講されています。

林業従業者を養成する「学習と実習ゾーン」

「学習と実習ゾーン」は林業技術研修生の皆さんが作業道開設や高性能林業機械の研修等を行う森林で、当センターにあります各種林業機械の実習地となります。近年、自然豊かな環境の中で仕事をしたいという意思をもって、都会から県内の林業事業所に職を求める方々が増えており、そうした方々を一人前の林業人に育てる場として活用しています。

また、北隣には県総合教育センターが開設されました。学習指導要領改訂により「総合的学習の時間」が新設され、環境教育として森林や林業が取り上げられることも多くなります。先生方のそういった研修の場としても林業総合センターの活用が期待されています。

「体験学習の森」の利用について

この森林は自由にいつでもご利用いただけます。しかし、森林に親しみ学ぶことを目的として整備されましたので、キャンプや焚き火、バーベキューはできません。ある程度の人員がまとまり、森林や林業についての解説を受けたい場合は、あらかじめ林業総合センター学習展示館に連絡してください。

また、隣接する既設の宿泊体験施設は、青少年育成を目的として建てられ定員は100名です。学校や地区の育成会、PTAの行事にご利用下さい。

7、8月は小学生の利用で賑やかだった「体験学習の森」も9月に入って虫の音が優しく聞こえるようになりました。数人で解説板を見ながら植物を勉強するグループや、秋の草花をカメラにおさめながら森林浴を楽しむ方が、チップを敷いた遊歩道を散策されています。

これから紅葉の季節。手軽に美しい自然を満喫できる森林を、多くの皆さんにご利用いただきますようお待ちしております。(指導部 松原)

森林・林業の実践的教育と森づくりの体験の場 ～体験学習の森～

